

# まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

## 第94号

平成21年(2009)8月発行

発行・事務局

◎ 荏原第一地域センター ◎

小山3-22-3 (〒142-0062)

☎ (3786) 2000

fax (3786) 5385

## 新しい町会長さんです。どうぞよろしく

\* 全員参加の町づくりを

小山台1丁目町会

河野 義男さん (65)

[出身地] 小山台1丁目

[趣味] スポーツ観戦



[ひと言] 町会を南北に分ける補助46号線が間もなく開通し、防災広場も完成します。また、マンション建設による住民の増加が見込まれます。これら町内のさまざまな変化にともない、今までなかった諸問題が発生することでしょう。新旧町会員の皆さん全員が一緒になって協力しあい、住み良い町づくりを目指していきましょう。そのためのお役に立ちたいと思っています。

\* 交流と親睦を深めたい

荏原1丁目町会

小澤 岩夫さん (72)

[出身地] 荏原1丁目

[趣味] 野菜づくり、ゴルフ



[ひと言] 町会の最大の目的は住民相互の交流と親睦を図ることです。春にはお花見、夏休みにはドジョウつかみやスイカ割り、歳末には餅つきなど、各行事を行いながら親睦を図っています。また、消防、防災、防犯、環境整備などを通して、快適な生活をおくれるよう配慮することも町会の大切な役割です。諸先輩が築きあげてきた成果を踏まえ努力していく所存です。

\* 個々の力を結集して大きな力へ

荏原3丁目町会

石井 恵吉さん (73)

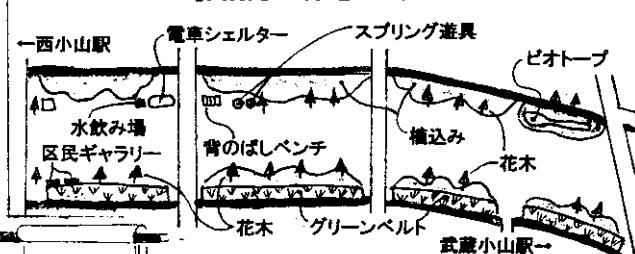
[出身地] 荏原3丁目

[趣味] 多趣味だが得意なし

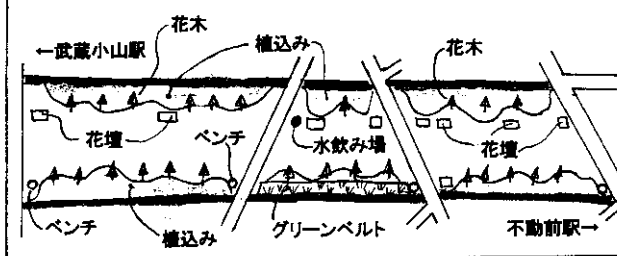


[ひと言] 何事にも前向きに取り組む意気込みだけは常に持ち合わせているつもりですが、一人の力にはおのずと限りがあります。ごく自然なかたちで会員皆さんのご協力をいただき、その力を寄せ集めて、より一層大きな力を引き出すことが出来れば、と思っています。それが私に課せられた役目のひとつではないかと考えております。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

### 【武蔵小山緑道公園】



### 【不動前緑道公園】



### ● 武蔵小山・西小山駅間の地下化

## 線路跡が憩いの緑道に

平成18年7月2日、武蔵小山と西小山の両駅が地下にもぐるという歴史的瞬間から2年10か月、この5月には細長く延びた線路の跡地が二つの公園に生まれ変わりました。

一つは、武蔵小山駅を中心にして西小山駅側に造成された武蔵小山緑道公園、もう一つが不動前駅側に造成された不動前緑道公園。どちらも道幅は10メートルほどで、両側には植え込みが連なり、ハナミズキやサルスベリ、ムクゲなどの木立が植えられています。かつて、ここに線路が敷かれていたなを思いもよらない、爽やかな憩いの広場に変身です。



涼しげなピオトープ。野鳥の姿も見られるかも

汚す人 あなたの心も

汚れてる

地域住民の方々の意見を取り入れて完成したというだけあって、園内の施設にはいろいろ気配りと工夫がなされています。たとえば、夜中、若者のたまり場にならないようにトイレを設置しない、椅子はなるべく少なくおさえる、災害時に緑道沿いのお宅から直接、緑道に入れるように避けたらいいかなという意見もあつた。また、車両の屋根をかたどった電車シェルトアと名付けられた東屋あずまや風の休憩所や幼児用の遊具も設置。このほか、作品展不用の掲示板が、基立ち並び、区民ギャラリーとして使われるのを待っています。

不動前緑道公園には、くねくねと変化をもたせた道端の随所に、四季折々の花が楽しめる花壇が散りばめられています。目にやさしく落ち着いた風情がたまたま散策路です。

近所に住む方に感想を尋ねると、我が家ですてきな庭ができたみたい、と喜ばれていました。

反面、犬の散歩の途中、植木や花壇にオシッコをさせるなど、マナーの欠ける人も見かけるとか。こんなことでは、電車が走っていたときの方が良かった、などと言われかねません。気をつけたいものです。



四季折々の花が咲き乱れる花壇

# 街角 フラザ

あなたも紙面づくりに  
参加してみませんか。  
俳句、短歌、川柳、身  
近なニュースなど事務  
局までお寄せください。

## 史跡散歩

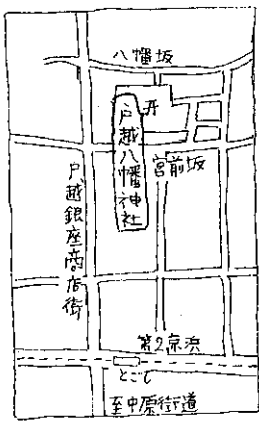
### 戸越八幡神社

住宅街の一角を占める広々とした境内に入ると、大きな樹木が枝を広げ、ひんやりとした空気に包まれています。

創建は戦国時代の大永6年（1526）のこと。村内の藪清水水源地从り出現したご神体を行永（ぎょうえい）法師が草庵に安置し、山城国（現京都）石清水男山八幡宮の分霊を勧請して共に祀ったのが起源と伝えられています。以来、旧戸越村の鎮守として村人たちに親しまれてきました。

境内には「戸越」の地名の起りとなったという《江戸越えて清水の上の成就庵 ねがひの糸のとけぬ日ななし》の古歌が記されています。

木造銅板葺きの社殿は都内でも貴重な江戸末期（安政3年11856）の建築です。



毎年5月5日のこどもの日に  
境内で開催される子供相撲大会

つて奉納されたもの。参道の両側に建つ一對の狛犬は延享3年（1746）に造られたもので、区内でもっとも古いそうです。

境内に茂る木々は多くが江戸時代から生育するもので、品川区の保存樹林として大切に保存されています。とくに樹齢300年ほど、樹高が20メートルにも及ぼうという大木のケンボナシは珍しく、絵馬、狛犬とともに品川区の認定文化財に指定されています。夏には白い小花が咲き、秋には赤みを帯びた甘い実を付け、目を楽ませてくれます。

## 掲示板

10月18日（日）に

### 総合防災訓練を実施

荏原第一地区の総合防災訓練が、10月18日（日）午前9時から12時まで林試の森公園で行われます。おもな内容は応急救護訓練、消火実践、救出救護のほか防災用品の展示販売も行います。日ごろからの訓練や心がけが大切です。近隣にお住まいの皆さん、お誘い合わせて参加しましょう。

◇荏原ホームで恒例の納涼会◇

荏原特別養護老人ホームでは、8月8日（土）午後1時30分から3時まで恒例

の納涼会を開催します。当日は、模擬店をはじめゲームなど楽しいアトラクションを用意していますので、ご家族、お友だちお誘い合わせのうえ、ぜひお出かけください。

◇夢フェスタ、大いに賑わう◇

東急目黒線地下化に伴う武蔵小山・西小山両駅前広場整備工事の完成を祝して、5月16日（土）・17日（日）の両日、祝賀イベントの「EBARA夢フェスタ2009」が実行委員会を中心に盛大に開催されました。

記念式典には、濱野品川区長、伊藤議長らに加え石原都知事が来賓として列席され祝辞を述べられました。

両駅前広場では、地元の小・中学生や高校生を中心にステージ発表があったほか、模擬店の出店や盆踊りなどが繰り広げられ大いに賑わいました。

二日間の人出は武蔵小山駅では5万人、西小山駅では2万人を数えました。それぞれの駅前広場にはキンモクセイとモチノキが記念樹として植えられ、将来の町の発展を見守ってくれるシンボルとなりました。

## 「国民の祝日」なるほどセミナー

▽法律によって定められた祝日

国民の祝日は、昭和23年に制定された「国民の祝日に関する法律（祝日法）」によって「休日」と定められました。

当初は、年9日間、祝日がありましたが、その後15日間に増え、しかも「祝日が日曜日の時は、その翌日を休日とする」として、振り替え休日制が採用されました。

昭和60年12月からは、前日と翌日が祝日で、さらにその日が日曜日もしくは振り替え休日でない場合には、その日は「国民の休日」として休日扱いになりました。

さらに平成12年からは1月15日



## 俳句短歌

朝曇りなじみの友の 下駄の音

（荏原1丁目 大柳 勝雄）

ニセアカシアの 原野を走る 一輛車

（荏原1丁目 吉田 健治）

わらべ唄 夜汽車はのぼる 天の川

（荏原1丁目 吉田 久美子）

文通の相手は 曾孫（ひま） 三才児

（小山3丁目 青山智恵子）

横顔の 美しきひと 日傘かな

（小山3丁目 青山 淑子）

皺（しわ）の手も 扇握れば あやめ咲く

（小山3丁目 小林 篤枝）

咲く花火散るは 刹那にはかななくて

（荏原1丁目 高橋 智子）

降り立ちて 左右たしかめ水を飲む

（荏原1丁目 高橋 智子）



「恵みあり」の木札かけられ 乳房垂る

（荏原1丁目 節子）

イチヨウ樹のもと 子育て地蔵あり

（荏原1丁目 節子）



に移されました。

▽内容的に三種類に分けられる

国民の祝日を内容的に分けると、

①祭りに基づく祝日、②国家にちな

\* 次号『まちかど』は11月5日発行の予定です

心身を培う日。

（次号は11月からの祝日を掲載）

心身を培う日。

\* 秋分の日（9月23日、うるう年では22日）：祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ日。

【人生に伴う祝日】

\* 敬老の日（9月15日に近い第3月曜）：多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬い長寿を祝う日。

\* 体育の日（10月10日に近い第2月曜）：スポーツに親しみ健康な

心身を培う日。

（次号は11月からの祝日を掲載）

心身を培う日。

心身を培う日。

心身を培う日。